

脊椎圧迫骨折の予防・治療戦略

- 骨粗鬆症・脊椎骨強度の検診体制構築
- 診断法の確立(X線、骨代謝マーカー、骨密度、骨強度)
- 生活指導・運動と骨粗鬆症治療薬による脊椎骨折発生の予防
- 新規骨折の早期診断と適切な治療
- 将来の再骨折予防
- 低侵襲治療法の開発



骨粗鬆症の予防・治療戦略

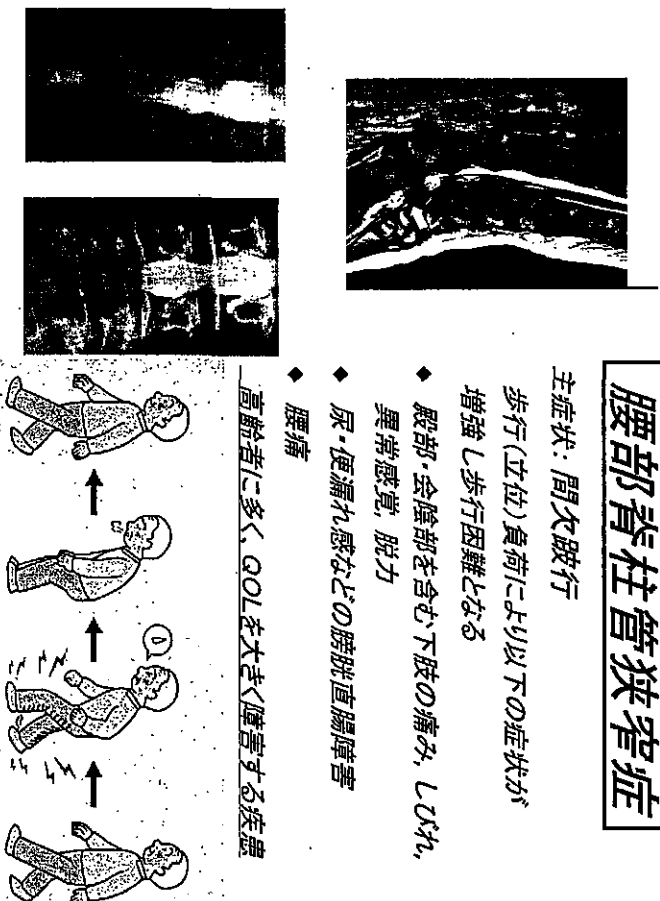
腰部脊柱管狭窄症

主症状：間欠跛行

歩行(立位)負荷により以下の症状が増強し歩行困難となる

- ◆ 殿部・会陰部を含む下肢の痛み、しびれ、異常感覚、脱力
- ◆ 尿・便漏れ感などの膀胱直腸障害
- ◆ 腰痛

高齢者に多く、QOLを大きく障害する疾患

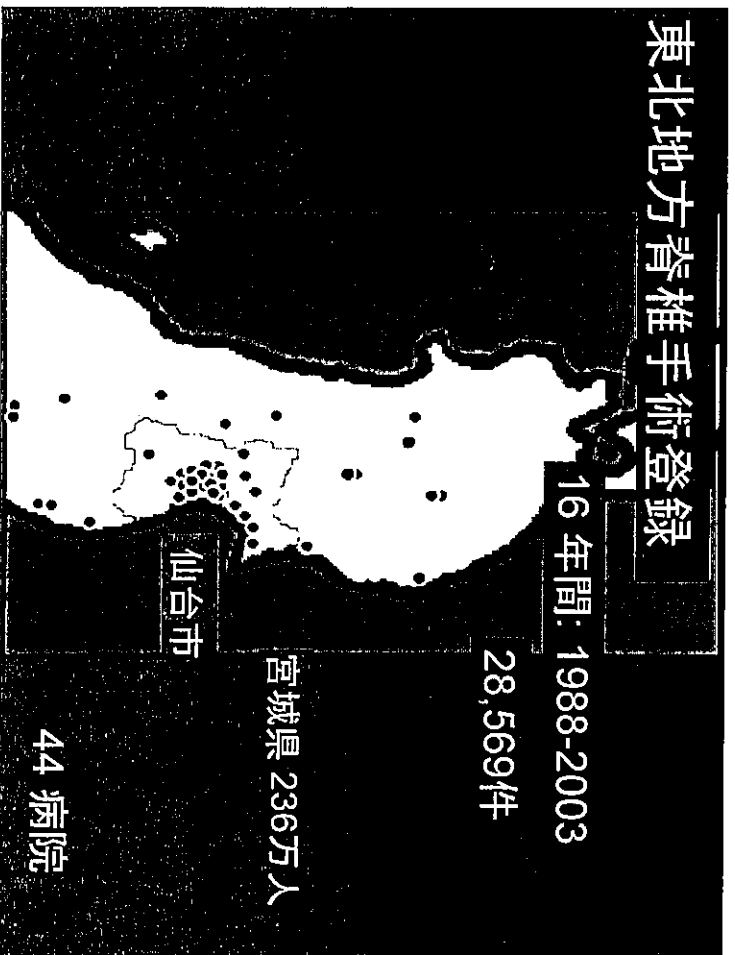


疾患別平均年齢

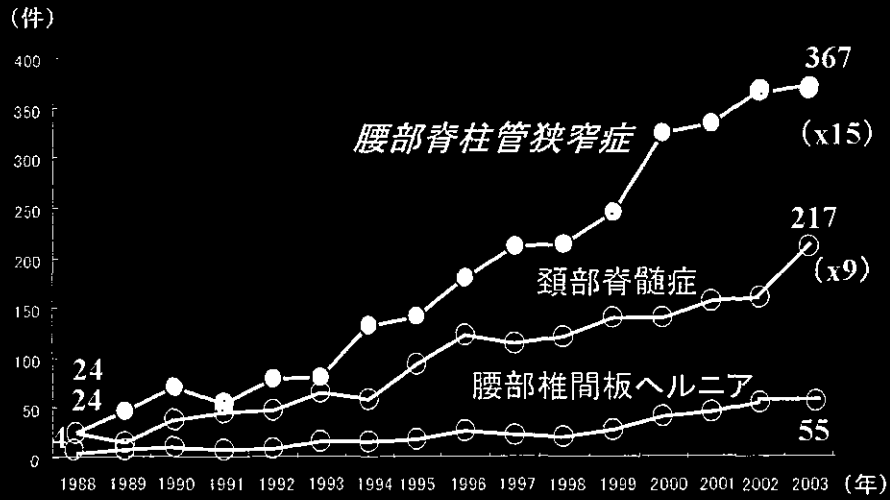


Spinal Symposium in Tokyo 2005 より
東京都内の医療施設(218施設)での実態調査

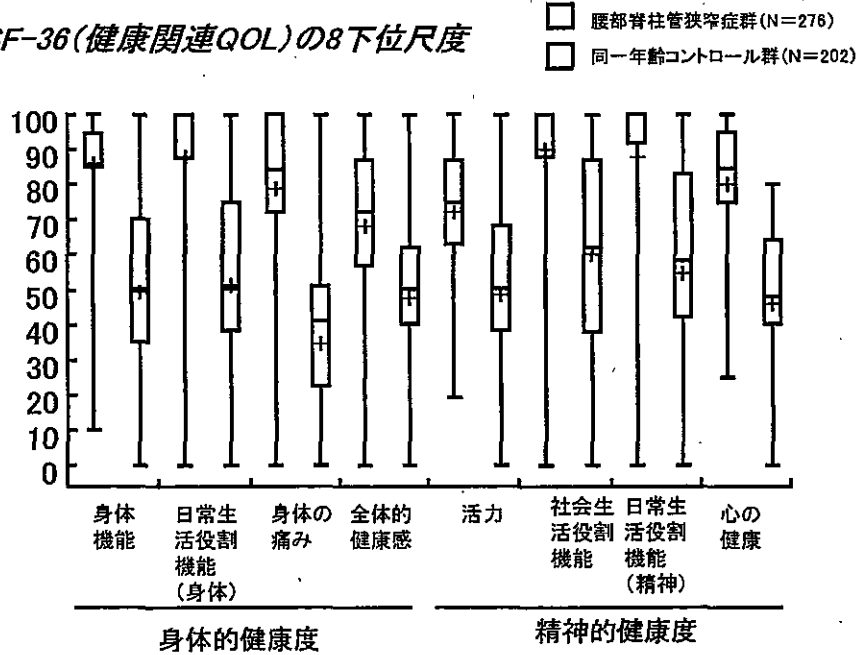
東北地方脊椎手術登録



高齢者(70歳以上)の手術件数の推移

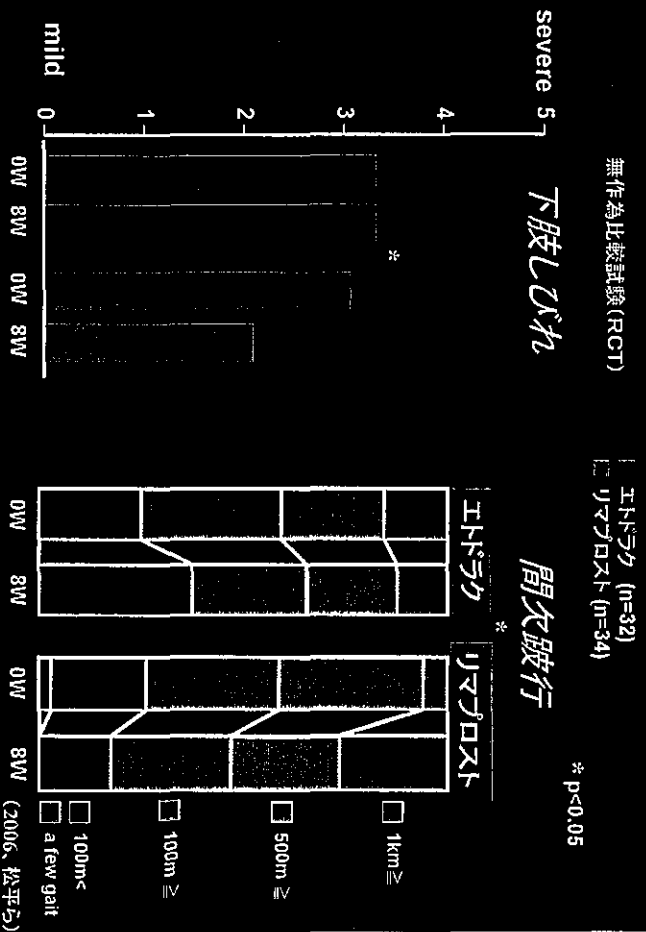


SF-36(健康関連QOL)の8下位尺度



(2004、松平ら)

介入による症状の改善



初期検診・診断システム構築

- ・プライマリケアの充実
専門医による腰痛検診
- ・臨床診断サポートツール
(腰部脊柱管狭窄診断用質問表; 東北腰部脊柱管狭窄研究会作成
: 感度84%, 特異度78%)
- ・画像診断 (腰椎単純レントゲン、MRI)
専門医による読影
- ・上下肢血圧測定
ABI (Ankle Brachial Pressure Index) 足関節部最高血圧/上腕動脈最高血圧
他科疾患 (特に閉塞性動脈硬化症; ASO) との鑑別診断

→ 早期診断の実現

腰部脊柱管狭窄症の重症化、進行の防止

早期診断

・プロスタグランジン製剤(PGE1)投与。
Seliguchi M. et al. Spine, 31: 869-72, 2006
佐藤公昭ほか 新薬と臨床 54: 667-81, 2005
兼辻雅章ほか MB Orthop, 17: 49-55, 2004

・日常生活におけるセルフマネジメント教育
(禁煙などの生活指導、運動療法など)の徹底。

喫煙は腰痛のRisk factor

Tomus E. et al. BMJ, 318: 1662-7, 1999

Eriksen W. et al. Occup Med (Lond), 49: 155-60, 1999

Williams の 屈曲運動

Williams M. BMJ, 310: 1332, 1995

McKenzie の 伸展運動

Stade S. C. et al. J Manipulative Physiol Ther,

29: 163-173, 2006



腰部脊柱管狭窄による症状出現を30%減少させる

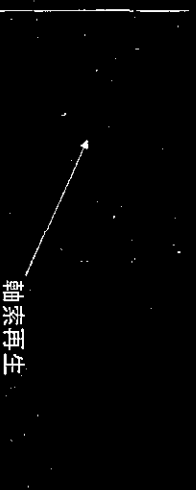
基礎科学研究分野

・脊髄・末梢神経疾患の病態解明(関連遺伝子解析など)

・痛みとびれの可視化
(in vivo imaging)

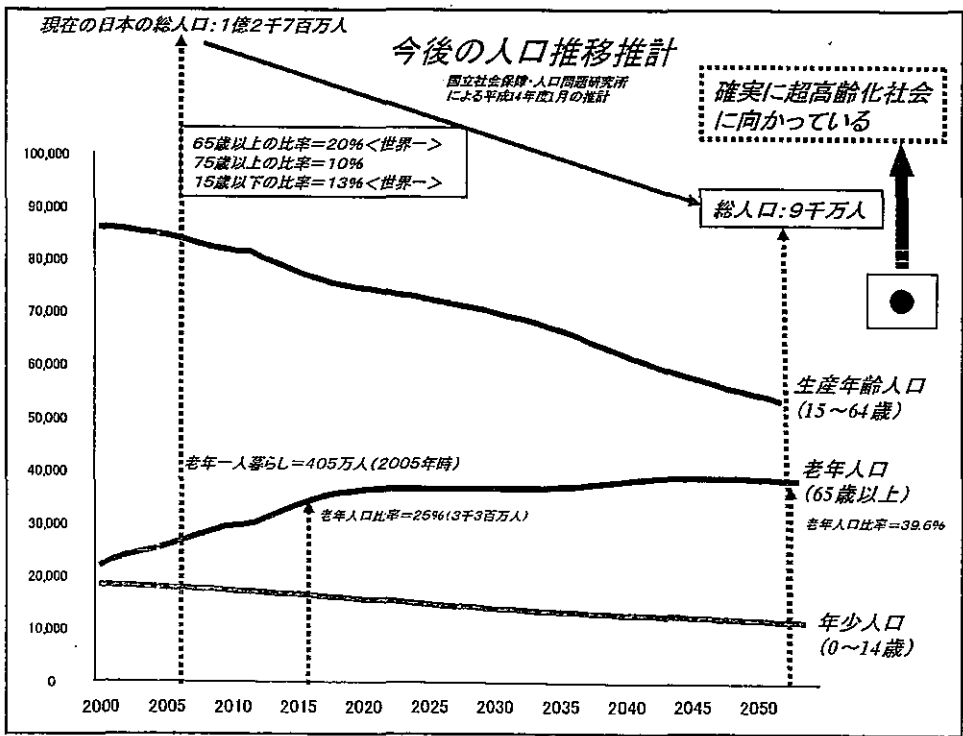
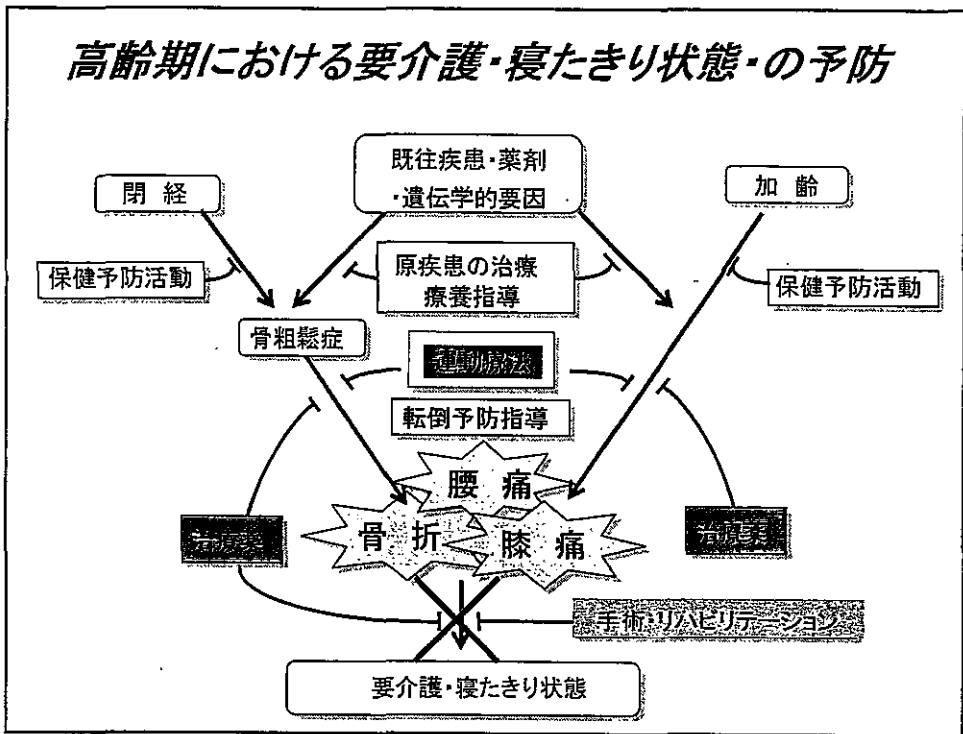


・神経再生研究(軸索再生、幹細胞の賦活化など)^{NOX2}遺伝子の発現



・椎間板変性のメカニズム解明(遺伝子学的・分子生物学的)など
と椎間板再生

高齢期における要介護・寝たきり状態の予防



運動器疾患の予防・医療・研究の推進
—運動器の10年世界運動 (2000-2010)—
健康寿命の延伸に向けて

